

『空き家と野生動物との関係性』

小田進太郎

加藤智也

平尾咲良

藤本敬太郎

丸橋優樹

指導教員 畔田豊年

1 研究の目的（ねらい）や意義（背景）

私たちはたつの市の空き家問題について関心を持った。国土交通省によると日本全国の空き家は過去20年間で1.9倍に増加していることが分かった。兵庫県の空き家の割合についても5.7%と全国平均をやや上回っている。そこで私たちは、QGISを使用し、たつの市日山地区の空き家と野生動物のフンの分布を地図上で重ね合わせることで関係性を見つけ、空き家の増加による課題や空き家の活用方法、空き家による影響について考え、抑制につながる方法を考えることにした。

2 進捗状況

（1）聞き取り調査

- ・日山自治会長

龍野高校周辺の龍野地区の空き家率は5.5% (R3. 1. 1) でたつの市の中でも特に多い。

空き家の一部が破損するなどの事例も起きている。

日山地区の空き家の分布地図を頂いた。

- ・たつの市都市政策部まちづくり推進課

たつの市の空き家数は2251件。

たつの市が所有している市全体の空き家分布地図は犯罪防止の観点から公開してもらえなかった。

→ “空き家と野生動物の行動範囲” というテーマに方向転換

（2）シカのフン調査

龍野高校内で調査したところ、14か所でしかフンが確認できた。

また、ネコやアナグマのフンも発見した。

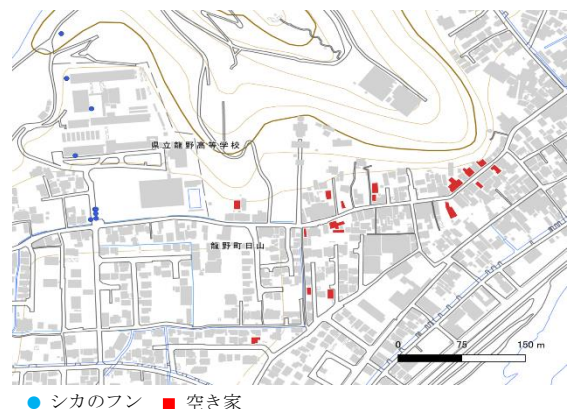
（3）QGISの活用した地図作製

日山地区の空き家の分布と校内のシカのフンの位置データをプロットした。

→ 空き家からほど近い校門付近でシカのフンが多く発見されたことから空き家などに野生動物が侵入し、人間の生活に影響を与える可能性が高いと考えられる。

3 今後の展望

まずは、日山地区の野生動物のフン調査を行い、野生動物の行動範囲を明らかにしたいと考えている。研究メンバーのみで日山全体のフィールドワークをするのは難しいため、住民の皆さんに協力を依頼して調査していきたい。また、その他にも日山地区についての様々な情報を集め、地図にプロットすることで空き家との関係性を見つけていきたい。



背景地図は「電子国土基本図（淡色地図）2023年9月調製

QGIS 3.28.5 FIRENZE

図 1